

認定番号：101 サポーター名：株式会社建設技術コンサルティング

取組実績	1. 九州地方整備局川内川河川事務所，大隅河川国道事務所，鹿児島国道事務所，鶴田ダム管理所等との災害協定に基づく対応 当社は，上記事務所との災害協定を結ぶとともに，所属する上位団体（鹿児島県測量設計業協会）等を通じた災害協力を行うこととし，下記の業務において災害復旧への協力を行った。 ・鹿児島国道事務所：維持管理業務内における「CCTVカメラ移設検討」 ・与論町：水路・道路災害査定用測量，ならびに資料作成 2. 近隣河川の氾濫時における避難所の提供 ・公的避難所開設までのつなぎとして，当社社屋1階(近隣二級河川：甲突川より60m上位)を臨時避難所にする計画を立案した。 ・報告対象期間内には，6月20日の線状降水帯発生予報，8月28日の台風10号に伴って，公的避難所が開設された。 ※幸い，上記における公的避難所開設は難渋せず，当社による臨時避難所の提供は必要とならなかった。
------	---

認定番号：101

サポーター名：株式会社建設技術コンサルタント

取組 実績

3. 河川に親しむイベント開催，ならびに流域治水に関する情報提供

1) 川を学び，川を楽しむイベント「かわがく」の開催

日時：令和6年8月18日(日) 10時～14時

場所：鹿児島市犬迫町(二級河川甲突川右岸11k付近)

対象：成人50名，子供13名

目的：地域住民に，地域内を流れる甲突川沿いでの行事を通じ，河川に親しむ楽しさや，洪水氾濫による怖さ(流域治水)等の学習を目的とした。

詳細：a) 鮎釣り・つかみ取り，b) 鮎等の飲食，c) 河川にまつわるクイズ，
d) 河川の学習，親水活動，e) 河川敷の清掃



写真：鮎釣りの状況



写真：クイズ大会の状況



写真：清掃の状況



写真：イベント後の集合写真

認定番号：101

サポーター名：株式会社建設技術コンサルタント

取組実績

- 2) a)「甲突川リバーサイドフェス」への出展, b)SUP (スタンドアップパドル) 体験イベント開催
- 日時：令和6年9月21日(日) 11時～16時
- 場所：鹿児島市加治屋町（二級河川甲突川2k500付近）
- 対象：a)成人20名程度，子供5人程度。b)成人16名，子供1名。
- 目的：毎月実施の同フェスにおいて，独自開催より多くの市民に対して，河川に関する知識普及を行うとともに，河川内での「川遊び」により，河川に親しんでもらうことを目的とした。
- 詳細：甲突川リバーサイドフェスは，同運営委員会主催（鹿児島市観光戦略推進課後援）による，マルシェを主体としたイベントである。当社は，ここにポスター説明のブースを出展し，甲突川での災害や改修等に関する説明を行った。また，上記フェス会場が面する河川内にて，SUP体験イベントを開催し，参加者に河川に親しんでもらった。



写真：フェス出展状況(流域治水)



写真：SUP体験イベントの状況

認定番号：101

サポーター名：株式会社建設技術コンサルタント

取組
実績

3) 鹿児島県河川関連部署へのポスター展示

日時：令和6年12月～

場所：鹿児島県庁

目的：鹿児島県の河川関連部署に、流域治水に関するポスターを展示して頂き、職員だけでなく一般来庁者にも「流域治水」や、「二級河川甲突川での氾濫、治水履歴」を知って頂くことを目的とした。

詳細：流域治水に関するポスター(下図参照)の存在を認知された鹿児島県河川課のお取り計らいで、土木部長室、河川課執務室に掲示して頂いた。



図：ポスター(令和6年11月22日オフィシャルサポーター交流会で展示したものと同じ)

認定番号：101

サポーター名：株式会社建設技術コンサルタント

取組実績

4. 流域治水ロゴマークとWebのQRコードを記載した社員名刺作成および配布

目的：ロゴマーク等を記載した名刺配付は、国、県、市町村、民間業者等、当社受注の関係者に対し、流域治水の推進にかかる協業を呼びかけることを目的とした。

詳細：ロゴマークの記載は、名刺を手渡す際に流域治水オフィシャルサポーターであること、流域治水に関する協業を訴えることを目的とした。他方で、名刺へのQRコード記載は実施しなかった。これは、QRコードの誘導先が、当社サイトへと流域治水公式サイトの二つとなることが紛らわしいと判断したためである。この代わりに、当社サイトに「流域治水の概要および公式サイト（国土交通省）への誘導」のコーナーを設け、流域治水の知識普及に貢献した。



(令和6年12月まで)名刺おもて面



名刺裏面



(令和7年1月以降)名刺おもて面



名刺裏面